

## 過去の修士論文題目

### 2015 年度

「イシュメールの世界——関係性とカジュアルネス」

‘Poetics and Pedagogy: A Study of Ezra Pound’s Making of “*Noh*” or *Accomplishment: A Study of the Classical Stage of Japan* by Ernst Fenollosa’

「サマセット・モーム研究——『お菓子とビール』を中心に」

「『偉大なるギャツビー』における女性の役割」

「一世の声を聞く——ヒサエ・ヤマモト作品における沈黙と聞き手」

‘Double-bind Dilemmas in Mark Twain’s *Pudd’nhead Wilson*’

‘The Impact of Washback Effect on Test-taking Strategies for University Entrance Examination of English in Japan’

### 2014 年度

‘Tolkien’s Heroism in *The Hobbit*’

「『テンペスト』の眠りに関する一考察」

「ハーマン・メルヴィル後期短編作品における倒錯のモチーフ」

「コナー・マクファーソン『ザ・ウィアー（堰）』研究——境界を曖昧化する作品としての『ザ・ウィアー（堰）』」

「『スーラ』における境界の作用」

「『ヴェニス商人』における利子と娼婦のパラドックス」

### 2013 年度

「Julius Caesar と言葉——言葉の重層性とその効果」

「『白鯨』における霊と肉」

### 2012 年度

「トルーマン・カポーティ研究」

「喜劇作家の政治学」

‘Women and the City in the Short Stories of Djuna Barnes’

「Emilia から見る *Othello* の嫉妬論」

「Francis Hodgson Burnett の空間表現」

### 2011 年度

「息子のいない家/家のない息子」

「『デイヴィッド・コパフィールド』試論」

「オスカー・ワイルド論」

「*The House of the Seven Gables* における「家族」の解体と再構築」

「母なき娘の戦い」

「ジェイン・オースティンと'Money」

## 2010 年度

「シェイマス・ヒーニーとギリシア悲劇——古典の変装」

「"an Open Tomb"——エミリー・ディキンソンの詩的身体構造について」

‘From Romantic Modernist to Melancholic Writer’

「『嵐が丘』の荒野を読む」

「『説得』にみるジェイン・オースティンの新たな試み」

「ポーの都市小説におけるまなざし」

「労働者階級からみた『アメリカ』」

「『自負と偏見』におけるメアリー・ベネットの存在価値についての考察」